

令和7年度 大津市立和邇小学校学校評価書

【評価】 ③:よくできた ②:できた ①:あまりできなかった ①:まったくできなかった

| 項目           |    |                                                        | 自己評価  |       | 学校関係者評価 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 今後の学校改善に向けて                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|--------------|----|--------------------------------------------------------|-------|-------|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|              |    |                                                        | 小項目評定 | 中項目評定 | 中項目評定   | 意見・提言等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 主体的・対話的で深い学び | 1  | 支持的風土を育てる学級・学年集団づくりを進めた。                               | 3     | 2     | 3       | ○コミュニケーションの取り方について工夫してほしい。<br>○主体的な学びと体験的な活動を丁寧に行われていると感じる。<br>○全体的に落ち着いた学級経営がなされていると感じる。自己研鑽に努め、幅広い視野で子どもたちの指導をお願いしたい。<br>○これからの時代、特に子どもたち一人一人が自分で考え、発言する力が必要だと思う。子どもたちが自ら考え判断する機会を大事にしていきたい。<br>○『いいところ貯金』等、取り組みやすいネーミングがされているのが良い。主体性を身につけるには、自分の言葉で話せることと同時に聴く姿勢がもてることが大切。                                                                                       | ★縦割り活動（年間2～3回）や運動会の縦割り応援の実施、児童会種目新設等を計画し、集団作りの充実を図る。<br>★和邇小ベレーシック等、土台の部分をしっかりとした上で、系統性を持たせることを意識していけるとよい。魅力的なゴールを設定されていることが多いので、それを次の年に残していく。<br>★授業研究会は、今年度と同じ形態で行うが、授業提供しない学年も授業を公開し、全教員が見て学べる機会を設ける。<br>★『対話』をキーワードに、朝の時間やぐんぐんの時間等を活用して、週1回コミュニケーショントレーニングを取り入れる。                                               |
|              | 2  | 協働する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善に努めた。            | 2     |       |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|              | 3  | 主体的・対話的で深い学びを追求する授業研究や研修に取り組んだ。                        | 2     |       |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 道徳教育の充実      | 4  | 生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる指導を工夫した。               | 3     | 2     | 3       | ○道徳教育に一段と力を入れてほしい。<br>○子ども一人ひとりの人権を尊重し、道徳の実践力を育てるためには、単発の授業ではなかなか難しいと感じる。いじめは起こさない、見逃さない等の風土がしっかり出来ていると評価されているが、引き続き意識を高める必要を感じる。<br>○生徒指導の部分と連携して十分取り組んでいると思う。児童のいじめの意識は悪くないはず。<br>○和邇バイパスの登り口等にゴミが捨てられている場面をよく見る。和邇の子どもたちには、無責任なゴミ捨てなどしない大人に育ってほしい。<br>○道徳観は、教師の心の中にあるものなので、共通認識をされるとともに、常に意識し細かな言動を見逃さないようされていると思う。しかし、教師の目がない所で悪気なくしていることもあると思うので、繰り返し指導をお願いしたい。 | ★人権の日の取組では、様々な人権課題（ジェンダー等）を取り扱っている。<br>★神絵を印刷・ラミネートして残したり、板書を写真に撮ってメタモジ等のICTを活用して共有したりできるようにする。<br>★考え、議論する道徳授業にするために、一人一人が書ける小さなラミネートボードを何セットか用意する。<br>★発問や展開の工夫を共有できるように、OJT研修等で道徳に関する座談会を開く。<br>★学校全体で使えるようふりかえり欄付きのワークシートを道徳部会で作成し、活用していく。<br>★人権の日や魔法の部屋、委員会活動等、授業以外の部分で様々な取り組みを行うことができているので、それを通信等で保護者の方に伝える。 |
|              | 5  | ものごとを様々な視点からとらえ考えさせる道徳科の授業・評価に関する研究や資料の開発・整備・交流に取り組んだ。 | 2     |       |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|              | 6  | 積極的に保護者等への道徳科の授業公開を行った。                                | 2     |       |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 体力づくり        | 7  | たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善に努めた。                           | 2     | 2     | 3       | ○今年度の運動会は、リレーをはじめ、いろいろな競技で迫力を感じた。勝負をこたわることだけでなく、各学級がタイム等、目標を定めてそれに向かって取り組んでいる良かった。<br>○工夫された内容で運動に親しみ、体力づくりに取り組まれていると思う。県下小学生の体力低下傾向と聞くので、引き続き、取組をお願いしたい。<br>○さまざまな形で、子どもたちが運動に親しむ機会を工夫し、子どもたちの体力の向上に取り組まれていると感じた。<br>○短い時間でもできることを取り入れていること、職員研修で先生自身が運動を楽しんでいることが素晴らしい。忙しい時間の中でも、先生も一緒に取り組んでいるのが素晴らしい。<br>○運動会の1日開催を目指してほしい。                                       | ★運動が苦手な子どもでも自ら取り組むことができるような魅力ある授業を行う。<br>★今年度と同様に、学級（学年）づくりを大切にしたい上で、単元に合わせた準備運動を行った運動量の確保に努めたりしていい。<br>★次年度も朝の運動を短時間で集中して行い、体を動かすことを習慣づける。<br>★体育掲示板の更なる活用を促し、縄跳びやスパートライ等、学校全体で熱量を上げて取り組んでいく。<br>★猛暑時にも運動できるように、遮光ネットなどを活用し、安全面にも配慮する。                                                                             |
|              | 8  | 運動に親しむ環境づくりや体力づくりに努めた。                                 | 3     |       |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|              | 9  | 生涯にわたって健康を保持増進し、進んで体を動かそうとする意欲を育てた。                    | 2     |       |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 指導改善         | 10 | 学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善に努めた。                           | 2     | 2     | 3       | ○学力を高める工夫が足りないように感じる。<br>○子どもが学びに対して興味・関心が持てる授業づくりをされている。基礎学力の強化が必要と課題にあげられているので、学習の基礎となる部分をアップできるよう取り組んでほしい。<br>○環境の変化、価値観の多様化、AIの進化していく中、限られた時間での指導・授業は大変かと思うが、更なる研修等で指導力のアップを図ってほしい。<br>○基礎学力の充実が何より大事である。学校全体で共通した取り組みができるといいと思う。<br>○指導改善は、こだわればこだわるほど質はあがるが、負担も増える。やりがいにもなるが、働き方としてはより工夫が必要である。<br>2学期制になった利点を生かしてほしい。<br>○宿題について、疑問がある。                       | ★習った事はおおむね理解できているも、かけ算わり算の筆算等で計算間違いが非常に多い状況がある。漢字（ことば）、計算を中心に継続的に反復練習に取り組む、基礎学力の強化を図る。<br>★OJTを充実させ、年間を通して各教科の研修を行ったり、長期休業中の研修で学んできたことを職員間で共有を図ったりする。<br>★視覚支援や学力を高めるツールとしてのiPadの効果的な活用についても、今後直すとともに、インターネットモラルについて教える機会を下学年においても設けていく。<br>★教職員が子どもたちと落ち着いて関わるように、短縮日課の日をつくる等の検討を行う。                               |
|              | 11 | 教職員の指導力及び組織的な教育力の向上に努めた。                               | 2     |       |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|              | 12 | 働き方改革の取り組みと教育活動の質の改善に取り組んだ。                            | 2     |       |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

| 項目          |           |    |                                            | 自己評価  |       | 学校関係者評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |       | 今後の学校改善に向けて                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------|-----------|----|--------------------------------------------|-------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|             |           |    |                                            | 小項目評定 | 中項目評定 | 現況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 中項目評定 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 意見・提言等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 育ちと学びを支える連携 | 家庭・地域との連携 | 13 | 保護者に対して、子育てに対する支援や研修会を行った。                 | 2     | 3     | ○スマホ教室は行うことができてよかった。子育てに対する支援が十分にできたかどうかは不確かである。普段からホームページを通して学校の情報を発信することができた。<br>○地域の方々と連携しながら進めていく取り組みが多々ある。<br>○不審者訓練やインターネット教育の参観など、今の時代に合った学習を取り入れられている。外部機関や地域との連携も充実しており、お互いがよさを活かしながら、教育活動に取り組むことができているように感じる。<br>○生徒指導や特別支援教育につながることで気になることはその都度、保護者と共有し、必要に応じて支援を行った。<br>▲予算の確保と情報発信を積極的に行い、持続できればと思うが、教師と児童の負担が増加し、通常の授業が圧迫されかねないので、精選も必要ではないかと思う。<br>○12月に行われた防災キャンプでは、地域の方と一緒に防災について学ぶことができた。 | 3     | ○形だけの取組が目立つ。<br>○防災キャンプ、不審者訓練やインターネット教室の参観等、ニーズに合った学習内容に取り組んでいる。ネット社会で小学生のトラブルも増えている昨今、引き続き、保護者にも呼びかけてほしい。<br>○学校に対する期待・要望も多く、大変かと思う。地域等の連携は、学校の過度の負担にならない程度で良いかと思う。<br>○地域との連携（地域学習等）が深められており、素晴らしい。子どもたちが生き生きと活動している様子が伺える。更に、地域での学習が深まっていくことを期待する。<br>○防災教育について学校全体で積極的に取り組んでおられることは、大変大きなことだと思う。今後も継続して取り組んでほしい。<br>○地域人材の活用や防災に対しての取組が効果的であったと思う。インターネット教室等の保護者参観の機会があればいい。保護者への周知をがんばってほしい。<br>○保護者・地域が丸となって、防災に取り組んでいた。来年も続けてほしい。 | ★保護者や地域とのつながりを大事に、地域の人や保護者の参加できる行事をこれからも続けていきたい。<br>★情報モラル教室への保護者の方の参加が、年々増えてきている。次年度も、専門家に指導していただき、参観という形で案内していく。<br>★保護者の方が子どもたちの様子を見ることができるよう、授業だけでなく教室や廊下の掲示物を充実させる。<br>★SCやSSWだけでなく、子どもの心の支えとなり、援助する役目を担うメンタルフレンド的な方がいると良い。不登校傾向の児童だけでなく、子ども達の話し相手や遊び相手となり、心の安定や学習意欲の支援をしてもらえるボランティアを探す。<br>★地域人材を活用しやすいうち一方で、連絡を取り合ったり時数を使ったりと、負担が増える部分もあるため、次年度は精選し、より効果的な取組を計画していく。 |
|             |           | 14 | 保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用に努めた。 | 3     |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|             |           | 15 | 防災教育の推進と、安心・安全な学校づくりを進めた。                  | 3     |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|             | 保幼小中の連携   | 16 | 子どもの校種間交流や教員の出前授業等、積極的な連携に努めた。             | 2     | 2     | ○校種間のつながりを大切にしている。子どもたちの可能性を最大限まで高めるためには今後も連携を密に行い、スムーズに接続していることが大切だ。<br>○園児さんが学校に来てくれる機会は多いが、園に行く機会は少ない。中学校も同じである。<br>○5・5交流や年長・1年生の交流、保幼小中の教員の校種間交流など、必要な機会に、また、定期的に交流に努められている。<br>▲保幼小中の連携については、学年や立場によって差がある。<br>○校区研においても校種間交流の機会となっている。<br>○保幼小中の連携について、カリキュラムの編成、研究は代表者を中心に行うことができたが、小学校の担任が幼稚園や保育園に出向くことはほとんどなかった。                                                                                  | 2     | ○中学校との連携力を入れてほしい。<br>○保幼小が連携し、今年度カリキュラム作成が出来た。55交流、運動会参観等の交流で、安心した就学につなげることができた。次年度は保幼小職員が共に学べる機会があればありがたい。<br>○日常的な交流を更に充実させ、深めていくことを望む。<br>○中学校区でシステムを作らないと交流は難しい。校長会が学区教育研究会かでルールを作るべきである。<br>○不登校になる児童は、保育園や幼稚園でも兆しが見られるかと思う。そうした面でも、連携をしっかりとる必要があると感じる。<br>○それぞれに時間を取りづらいうち、交流をその後の活動に生かしたことは大変ありがたい。教師レベルの積極的な学びの交流ができるよう、お願いしたい。（小学校からの研修案内がほしい。）                                                                                 | ★だれが担当になってもよいように、日頃から職員同士の関係づくりに取り組みでいく。<br><br>★合同研修は少しずつではあるが実施できている。次年度は、小学校の研究授業や授業研究会に保育園や幼稚園、中学校へ参加の案内を出していく。<br>★該当学年以外は交流する機会が少ないのが現状である。どの程度連携できているかは伝わりにくいのので、発信する機会を積極的に設けていく。<br>★55交流では、暑さの影響もあり今年度実施に課題があった。次年度は7月ではなく6月や1月に計画する。<br>★中学校への入学説明会は、ねらいを明確にし、引率は保護者の責任のもとで実施する。                                                                                 |
|             |           | 17 | 校種間の授業公開や合同研修会や教育内容等の交流に努めた。               | 2     |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|             |           | 18 | 保幼小の接続期の教育課程の編成等、校種間のカリキュラム研究に取り組んだ。       | 2     |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 組織体制の充実     | 生徒指導体制の充実 | 19 | いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導に努めた。  | 3     | 3     | ○未然防止の生徒指導が充実している。トラブルが発生した際も、組織対応がよくできていると感じている。学年関係なく、学校全体で子どもを知り、見守る校風が素晴らしい。<br>○各教師のいじめや生徒指導事案へのアンテナが高く、何かあったときには協力して素早い連携が取れていると思う。<br>○アンテナを高くはり、組織で動いている。保護者対応も早期に行われていると感じる。<br>▲生徒指導対応や不登校対応で手薄になってしまう時間が多々あったり、学年でカバーしあったりすることが多い。<br>○子どもたちの様子に何か異変があったときや保護者の方から連絡があった時には、自分で判断をせず、管理職の先生に指導方法について相談をした。<br>○専門家による人権教育指導ができている。                                                               | 3     | ○成績が良くなくても家庭環境が厳しくても、「学校へ行くこと、友だちと遊ぶことが楽しい」ことが一番大切。子どもたちの心を大切にお願いしたい。<br>○就学後、子ども同士のトラブル等を聞いたり相談を受けたりすることがあった。ちょっとしたからかうつもりが相手にとっては傷つく行為であるため、休み時間等の見守りと指導にも引き続き当たってほしい。<br>○子どもたちの安心・安全な学校生活のために設備や環境、不審者対応など、こころの片隅に常に危機意識を持つことが大事である。<br>○組織対応、関係機関との連携等、日頃からきめ細かな対応をされているので、家庭にももっと分かってもらえると良いですね。<br>○教師は、子どもが納得する意見や答えをもって、また、危機意識を高く持って接してほしい。                                                                                    | ★生徒指導を充実させると同時に、日々の授業も充実したものにさせるよう努めていく。わかりやすい授業のめあてと支援、成果のふり返りなどを大切にしていこう。<br>★未然防止ができるよう、子どもたちの様子をしっかりと見ておく。また、日々のコミュニケーションを大事にしたり、いじめアンケートを活用したりしていく。<br>★『わつつこの約束』を子どもと対話する中で検討していく必要がある。ルールを守ることの大切さについて深めていきたい。<br>★指導内容を記録しておくことが子どもたちの指導に繋がっていくので、今後も記録の徹底を図る。                                                                                                      |
|             |           | 20 | 生徒指導・教育相談体制を確立し、組織的に推進した。                  | 3     |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|             |           | 21 | 家庭・地域・関係機関との連携による指導に努めた。                   | 3     |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|             | 特別支援教育の充実 | 22 | 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用に努めた。              | 3     | 3     | ○▲個別の指導計画の作成をすることができた児童と、必要であるが保護者との連携がうまくできずに作成できていない児童がいる。<br>○保護者の思いに寄り添い、一緒に子どもを育てる、支えていくことの理解を得て、個別の指導計画の作成に取り組むことができた。<br>○個別の支援計画を、担任一人ではなく、特別支援コーディネーターを中心に組織でつくり、子どもの理解にもつながった。定期的に特別支援委員会を開き、子どもの現状や支援、外部機関との連携について情報共有や意見の出し合いをすることができた。<br>▲個別に支援が必要な児童が複数名いるときに、十分に対応しきれないことがある。<br>○個別の支援が必要な児童について、保護者の方や関係機関と情報を共有しつつ、支援を行った。<br>○就学前から話しておいてくださったので、就学相談の話がしやすかった。                         | 3     | ○コーディネーター任せだけでなく、個々の努力を望みます。<br>○支援が必要な児童が増える中、学級全体で熱心に取り組んでいると感じる。<br>○就学前の見学・体験、保護者との面談をとても丁寧にしてもらっている。その子の今の課題から、一人ひとりの良さを引き出し、力を伸ばそうと取り組まれている。一人ひとりに合った支援を継続してほしい。<br>○特別支援教育に関わる小中の連携を充実させていくべきである。<br>○保護者の思いに寄り添うことが大切かと思う。保護者が気軽に学校に相談できる支援体制を構築してほしい。<br>○支援が必要ではあるが、通常学級に在籍する児童もいる。特性に応じた柔軟な対応をお願いしたい。<br>○個性を理解し、守ってあげてほしい。                                                                                                   | ★個別の指導計画がある児童への関わりについて、十分な対応ができるよう、計画の目標設定を整理しスモールステップで行う。<br>★保護者との関わりを密にして信頼関係づくりに努め、支援が必要な児童の個別の指導計画を作成し、今後の指導に活かせるようにする。<br>★巡回相談や多職種巡回など、校内や保護者へのアナウンスをしっかりと行う。<br>★今後も様々な関係機関とつながりを持ち、相談しながらいろんな視点から児童の支援をしていく。<br>★進級・進学の際には、時間をかけ引き継ぎを丁寧に行う。                                                                                                                        |
|             |           | 23 | 組織的・計画的な特別支援教育体制を確立した。                     | 3     |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|             |           | 24 | 関係機関と連携した相談体制の充実に努めた。                      | 3     |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |